

科目名	アドバンスレッスン2							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース(ギター) 2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	野村大輔	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、ディレクター		
【科目の目的】 課題曲を用いて、曲の歴史的背景・演奏法・曲作り・フレージングを中心に学び、音楽スキルの向上を目的とする。									
【科目の概要】 デビューをめざして各楽器の演奏、音楽制作のスキルをさらにアップ。オリジナリティを磨くトレーニングを継続し、各種オーディションやライブ活動等に積極的に参加。 音楽業界で通用するスキルと知識を持った音楽家育成します。									
【到達目標】 A. 課題曲4曲の歴史的背景について理解する。 B. 課題曲4曲における演奏法・音色作り・フレージングができる。 C. 課題曲4曲を自身のレパートリーとすることができる。									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	課題曲4曲の歴史的背景について理解する			課題曲2曲の歴史的背景について理解する				到達目標Aについてさらなる努力が必要	
到達目標 B	課題曲4曲における演奏法・音色作り・フレージングができる			課題曲2曲における演奏法・音色作り・フレージングができる				到達目標Bについてさらなる努力が必要	
到達目標 C	課題曲4曲を自身のレパートリーとすることができる			課題曲2曲を自身のレパートリーとすることができる				到達目標Cについてさらなる努力が必要	
【教科書】 エレキギターバックギングのアイデア”即戦力”135									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。 60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、 授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1 課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3 仕上がり確認	各楽曲の仕上がりを確認できる		
14	前期試験	合奏	1 課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2 他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3 演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1 フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2 ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3 今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	アドバンスレッスン 2							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース（ベース）2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	満園庄太郎	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家、 プロデューサー、ディレク ター		
【科目の目的】 課題曲を用いて、曲の歴史的背景・演奏法・曲作り・フレージングを中心に学び、音楽スキルの向上を目的とする。									
【科目の概要】 デビューをめざして各楽器の演奏、音楽制作のスキルをさらにアップ。オリジナリティを磨くトレーニングを継続し、各種オーディションやライブ活動等に積極的に参加。									
【到達目標】 A. 課題曲4曲の歴史的背景について理解する。 B. 課題曲4曲における演奏法・音色作り・フレージングができる。 C. 課題曲4曲を自身のレパートリーとすることができる。									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	課題曲4曲の歴史的背景について理解する			課題曲2曲の歴史的背景について理解する				到達目標Aについてさらなる努力が必要	
到達目標 B	課題曲4曲における演奏法・音色作り・フレージングができる			課題曲2曲における演奏法・音色作り・フレージングができる				到達目標Bについてさらなる努力が必要	
到達目標 C	課題曲4曲を自身のレパートリーとすることができる			課題曲2曲を自身のレパートリーとすることができる				到達目標Cについてさらなる努力が必要	
【教科書】 はじめてのジャズベース									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はループリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。 60%(知識及び技能のほか思考・判断・表現を評価する)、 授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1 課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3 仕上がり確認	各楽曲の仕上がりを確認できる		
14	前期試験	合奏	1 課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2 他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3 演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1 フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2 ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3 今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	アドバンスレッスン 2							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース（ピアノ・キーボード）2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	堀越昭宏		教員の実務経験	有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家、 プロデューサー、ディレク ター		
【科目の目的】 課題曲を用いて、曲の歴史的背景・演奏法・曲作り・フレージングを中心に学び、音楽スキルの向上を目的とする。									
【科目の概要】 デビューをめざして各楽器の演奏、音楽制作のスキルをさらにアップ。オリジナリティを磨くトレーニングを継続し、各種オーディションやライブ活動等に積極的に参加。									
【到達目標】 A. 課題曲4曲の歴史的背景について理解する。 B. 課題曲4曲における演奏法・音色作り・フレージングができる。 C. 課題曲4曲を自身のレパートリーとすることができる。									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	課題曲4曲の歴史的背景について理解する			課題曲2曲の歴史的背景について理解する				到達目標Aについてさらなる努力が必要	
到達目標 B	課題曲4曲における演奏法・音色作り・フレージングができる			課題曲2曲における演奏法・音色作り・フレージングができる				到達目標Bについてさらなる努力が必要	
到達目標 C	課題曲4曲を自身のレパートリーとすることができる			課題曲2曲を自身のレパートリーとすることができる				到達目標Cについてさらなる努力が必要	
【教科書】 キーボードバックキングのアイデア“即戦力”138									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はループリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1 課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3 仕上がり確認	各楽曲の仕上がりを確認できる		
14	前期試験	合奏	1 課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2 他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3 演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1 フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2 ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3 今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	アドバンスレッスン 2							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース（ドラム）2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	麻生祥一郎	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家、 プロデューサー、ディレク ター		
【科目の目的】 課題曲を用いて、曲の歴史的背景・演奏法・曲作り・フレージングを中心に学び、音楽スキルの向上を目的とする。									
【科目の概要】 デビューをめざして各楽器の演奏、音楽制作のスキルをさらにアップ。オリジナリティを磨くトレーニングを継続し、各種オーディションやライブ活動等に積極的に参加。									
【到達目標】 A. 課題曲4曲の歴史的背景について理解する。 B. 課題曲4曲における演奏法・音色作り・フレージングができる。 C. 課題曲4曲を自身のレパートリーとすることができる。									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	課題曲4曲の歴史的背景について理解する			課題曲2曲の歴史的背景について理解する				到達目標Aについてさらなる努力が必要	
到達目標 B	課題曲4曲における演奏法・音色作り・フレージングができる			課題曲2曲における演奏法・音色作り・フレージングができる				到達目標Bについてさらなる努力が必要	
到達目標 C	課題曲4曲を自身のレパートリーとすることができる			課題曲2曲を自身のレパートリーとすることができる				到達目標Cについてさらなる努力が必要	
【教科書】 Progressive Steps to Syncopation for the Modern Drummer									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	概要&課題曲①	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
2	課題曲①進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
3	課題曲①練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
4	課題曲②導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
5	課題曲②進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
6	課題曲②練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
7	課題曲③導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
8	課題曲③進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
9	課題曲③練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
10	課題曲④導入	楽曲把握	1 課題曲の紹介	課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントがわかる		
			3 仕上げまでの予定	仕上げまでの予定を立てることができる		
11	課題曲④進行	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 譜面の読み方	譜面の読み方がわかる		
			3 進行の確認	楽曲の進行の確認ができる		
12	課題曲④練習	フレージング	1 各楽器の奏法	各楽器の奏法が実行できる	3	
			2 音楽理論の把握	音楽理論の把握ができる		
			3 演奏のテンポアップ	演奏のテンポアップができる		
13	課題曲まとめ	応用方法	1 課題曲の振り返り	各課題曲を理解できる	3	
			2 楽曲のポイント	楽曲のポイントを深く理解する		
			3 仕上がり確認	各楽曲の仕上がりを確認できる		
14	前期試験	合奏	1 課題曲の合奏	課題曲の合奏ができる	3	
			2 他者の演奏分析	他者の演奏分析ができる		
			3 演奏の自己分析	演奏の自己分析ができる		
15	前期まとめ	復習の実践	1 フィードバック	フィードバックが理解できる	3	
			2 ポイントの再整理	ポイントの再整理ができる		
			3 今後への展望	今後への展望を理解する		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	アドバンスレッスン2							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	河原レオ・郁川舞	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家、 プロデューサー、ディレク ター		

【科目の目的】

現代の音楽における録音と波形編集技術に関する知識を深める。マイクとラインでの録音手法を習得し、レコーディングのための録音手法、録音したファイルにおいて4つのエフェクトを活用してミックス技術を学ぶことで、音楽業界で通用する人材を育成する。

【科目の概要】

デビューをめざして各楽器の演奏、音楽制作のスキルをさらにアップ。オリジナリティを磨くトレーニングを継続し、各種オーディションやライブ活動等に積極的に参加。音楽業界で通用するスキルと知識を持った音楽家育成します。

【到達目標】

- A. 現代の音楽における録音と波形編集技術の知見を得る。
 B. マイクとラインでの録音手法で、指定された締切時間内にレコーディングができる。
 C. レコーディングしたファイルにおける4種類のエフェクトを活用したミックス技術の実践ができる。

【授業の注意点】

授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ルーブリック

ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	現代の音楽における録音と波形編集技術の知見を得る		録音と波形編集技術の知見を得る		到達目標Aについてさらなる努力が必要
到達目標 B	マイクとラインでの録音手法で、指定された締切時間内にレコーディングができる		任意の録音手法で、指定された締切時間内にレコーディングができる		到達目標Bについてさらなる努力が必要
到達目標 C	レコーディングしたファイルにおける4種類のエフェクトを活用したミックス技術の実践ができる		レコーディングしたファイルにおける2種類のエフェクトを活用したミックス技術の実践ができる		到達目標Cについてさらなる努力が必要

【教科書】

特になし

【参考資料】

必要に応じて、プリントを配布する

【成績の評価方法・評価基準】

評価基準はルーブリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	課題③基礎	基礎理解	1 楽曲概論	楽曲制作理解	3	
			2 基本制作	録音技術入門		
			3 録音実習	DAW基本操作		
2	課題③旋律	旋律作成	1 制作技術	音楽理論応用	3	
			2 録音手法	マルチトラック録音		
			3 アレンジ法	エフェクト活用		
3	課題③和声	和声適用	1 作曲理論	アレンジ基礎理解	3	
			2 ミキシング	ミックスダウン概要		
			3 デモ制作	クリエイティブ実習		
4	課題③リズム	リズム設計	1 中級制作	ジャンル分析能力	3	
			2 エフェクト応用	音質改善技術		
			3 マスタリング	音楽制作倫理		
5	課題③アレンジ	アレンジ完成	1 応用制作	作曲技術習得	3	
			2 音色調整	アドバンス録音		
			3 最終調整	編集技術向上		
6	課題③ミックス	音響仕上げ	1 上級制作	中級アレンジ理解	3	
			2 録音応用	ミックスバランス理解		
			3 詳細アレンジ	制作プロセス最適化		
7	課題③完成	発表形態	1 完成形検討	第1課題曲完成	3	
			2 録音最適化	自己評価方法習得		
			3 編集技術	録音セッション管理		
8	課題④基礎	基礎理解	1 曲の仕上げ	第2課題曲概要	3	
			2 課題曲深化	音楽ソフトウェア応用		
			3 マイク技術	録音環境カスタマイズ		
9	課題④旋律	旋律作成	1 セルフプロデュース	実践的DAW操作	3	
			2 課題曲完成	構造的アレンジ法		
			3 音響知識	高度編集テクニック		
10	課題④和声	和声適用	1 プレゼン準備	アドバンスドミキシング	3	
			2 課題③④概論	作品のスタイリング		
			3 新規制作	第2課題曲制作		
11	課題④リズム	リズム設計	1 課題③④録音	クリティカルリスニング	3	
			2 課題③④技術	音響技術応用		
			3 課題③④手法	制作プロジェクト管理		
12	課題④アレンジ	アレンジ完成	1 課題③④アレンジ	第2課題曲完成	3	
			2 課題③④理論	評価とフィードバック		
			3 課題③④ミキシング	ポートフォリオ制作		
13	課題④ミックス	音響仕上げ	1 課題③④デモ	前期総括と評価	3	
			2 課題③④中級	成果発表準備		
			3 課題③④エフェクト	自己分析と目標設定		
14	課題④完成	発表形態	1 課題③④マスタリング	成果のドキュメンテーション	3	
			2 課題③④応用	成果発表技術		
			3 課題③④音色	フィードバックの統合		
15	まとめ	総仕上げ	1 課題③④最終調整	次期準備と計画	3	
			2 まとめ準備	総合評価と自己改善		
			3 成果発表	コースの総括と反省		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等

科目名	アドバンスレッスン2							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	杉本 清隆・松川かの子		教員の実務経験	有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家、 プロデューサー、ディレク ター		

【科目の目的】

様々なジャンルの曲を題材に、読譜力を身につけ、演奏に対応する知識とスキルの向上を目指す。これにより、幅広い音楽表現に対応できる柔軟性を養い、豊かな音楽体験を追求する。

【科目の概要】

デビューをめざして各楽器の演奏、音楽制作のスキルをさらにアップ。オリジナリティを磨くトレーニングを継続し、各種オーディションやライブ活動等に積極的に参加。
音楽業界で通用するスキルと知識を持った音楽家育成します。

【到達目標】

- A. 4種類の音楽ジャンル、リズム形態、テンポ、拍子、コード進行を把握する。
- B. 4曲の課題曲の中で即座に対応できる読譜力を身につける。
- C. 対応力のある演奏スタイルに関する知見を得る。

【授業の注意点】

授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

評価基準＝ループリック

ループリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう		レベル1 要努力
到達目標 A	4種類の音楽ジャンル、リズム形態、テンポ、拍子、コード進行を把握する		4種類の音楽ジャンルを把握する		到達目標Aについてさらなる努力が必要
到達目標 B	4曲の課題曲の中で即座に対応できる読譜力を身につける		2曲の課題曲の中で読譜力を身につける		到達目標Bについてさらなる努力が必要
到達目標 C	対応力のある演奏スタイルに関する深い知見を得る		対応力のある演奏スタイルに関する知見を得る		到達目標Cについてさらなる努力が必要

【教科書】

特になし

【参考資料】

必要に応じて、プリントを配布する

【成績の評価方法・評価基準】

専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考え方から、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。

※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025	
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	課題①基礎演奏	演奏理論	1	リズム練習	リズムを正確に刻める	3	
			2	ピッチ練習	ピッチの正確性を保つ		
			3	曲の基本	課題曲①の読譜ができる		
2	課題①アドリブ	演奏手法	1	アドリブ入門	アドリブソロを導入する	3	
			2	ソロ基礎	リズムパターンを変える		
			3	変奏理解	曲の構成を理解する		
3	コード進行学習	演奏解析	1	インプロ基礎	コード進行で即興する	3	
			2	コード練習	リズムの応用力を高める		
			3	即興技術	ピッチで表現力を増す		
4	課題②基礎演奏	演奏理論	1	リズム応用	課題曲②の読譜ができる	3	
			2	ピッチ応用	アドリブで個性を出す		
			3	演奏強化	リズムのバリエーションを作る		
5	課題②アドリブ	演奏手法	1	アドリブ応用	コードに合わせて即興する	3	
			2	ソロ応用	リズムの深い理解を得る		
			3	変奏展開	ピッチで感情を伝える		
6	コード進行学習	演奏解析	1	インプロ展開	課題曲③の読譜ができる	3	
			2	コード応用	アドリブの技術を向上させる		
			3	即興応用	リズムで創造性を示す		
7	課題③基礎	演奏理論	1	リズム確認	コード進行に沿った即興	3	
			2	ピッチ確認	リズム感を完璧にする		
			3	演奏洗練	ピッチで完全なハーモニーを作る		
8	課題③アドリブ	演奏手法	1	アドリブ進化	課題曲④の読譜ができる	3	
			2	ソロ進化	アドリブで新たなフレーズを作る		
			3	変奏進化	リズムで曲の雰囲気を変える		
9	コード進行学習	演奏解析	1	インプロ進化	コードを使った即興の洗習	3	
			2	コード進行	リズムの細かいニュアンスをつかむ		
			3	即興進化	ピッチで繊細な表現をする		
10	課題④基礎演奏	演奏理論	1	リズム習得	課題曲⑤の読譜ができる	3	
			2	ピッチ習得	アドリブで曲に深みを与える		
			3	演奏完成	リズムの高度なバリエーションを開発する		
11	課題④アドリブ	演奏手法	1	アドリブ習得	コードの知識を即興に活かす	3	
			2	ソロ習得	授業の内容を総復習する		
			3	変奏習得	実技試験に向けて練習する		
12	コード進行学習	演奏解析	1	インプロ習得	フィードバックを活用する	3	
			2	コード習得	課題曲すべてを完全に読譜できる		
			3	即興習得	アドリブの自由度を高める		
13	課題⑤基礎演奏	演奏理論	1	総合復習	リズムとピッチの統合	3	
			2	実技試験	各課題曲の即興を追求		
			3	評価フィードバック	演奏技術の総合評価		
14	課題⑤アドリブ	演奏手法	1	リズム確立	アドリブで感情を表現	3	
			2	ピッチ確立	コード進行の理解を深める		
			3	演奏総合	試験曲での表現力を確認		
15	前期のまとめ	演奏解析	1	アドリブ総合	演奏における自己表現を磨く	3	
			2	ソロ総合	アンサンブルでの調和を図る		
			3	変奏総合	即興技術の応用を拡げる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等

科目名	アドバンスレッスン2							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	永田範正・松川かの子・郁川舞	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家、 プロデューサー、ディレク ター		
【科目の目的】 各楽器の演奏と音楽制作のスキル向上を図りつつ、オリジナリティを養うトレーニングを継続する。他のミュージシャンと演奏することを意識し臨機応変に対応するスキルを身につける。									
【科目の概要】 デビューをめざして各楽器の演奏、音楽制作のスキルをさらにアップ。オリジナリティを磨くトレーニングを継続し、各種オーディションやライブ活動等に積極的に参加。 音楽業界で通用するスキルと知識を持った音楽家育成します。									
【到達目標】 A. 4種類の音楽ジャンル、リズム形態、テンポ、拍子、コード進行を把握する。 B. 4曲の課題曲の中で即座に対応できるインプロヴィゼーション力を身につける。 C. 4曲の課題曲に関して、周りのミュージシャンとコミュニケーションをとりながら、相手がどんな事を考えているかなどを察知して、対応力のあるスタイルでの演奏ができる。									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	4種類の音楽ジャンル、 リズム形態、テンポ、拍 子、コード進行を把握す る			4種類の音楽ジャンルを 把握する				到達目標Aについてさら なる努力が必要	
到達目標 B	4曲の課題曲の中で即座 に対応できるインプロ ヴィゼーション力を身に つける			2曲の課題曲の中でイン プロヴィゼーション力を 身につける				到達目標Bについてさら なる努力が必要	
到達目標 C	4曲の課題曲に関して、 周りのミュージシャンと コミュニケーションをとり ながら、相手がどんな 事を考えているかなどを 察知して、対応力のある スタイルでの演奏ができ る			4曲の課題曲に関して、 周りのミュージシャンと コミュニケーションをとり ながら、相手が対応力 のあるスタイルでの演奏 ができる				到達目標Cについてさら なる努力が必要	
【教科書】 特になし									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はループリック評価に基づき、試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する) 1 4回目または1 5回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025	
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	課題①基礎演奏	譜面読譜	1	リズム習得	リズムを正確に刻める	3	
			2	ピッチ練習	ピッチの正確性を保つ		
			3	課題曲演奏	課題曲①を演奏できる		
2	課題①アドリブ	譜面読譜	1	アドリブ基礎	アドリブソロを導入する	3	
			2	リズム変化	リズムパターンを変える		
			3	構成理解	曲の構成を理解する		
3	コード進行学習	譜面解析	1	インプロ基礎	コード進行で即興する	3	
			2	コード認識	リズムの応用力を高める		
			3	即興演奏	ピッチで表現力を増す		
4	課題②基礎演奏	譜面読譜	1	リズム応用	課題曲②を演奏できる	3	
			2	ピッチ精度	アドリブで個性を出す		
			3	課題曲理解	リズムのバリエーションを作る		
5	課題②アドリブ	譜面読譜	1	アドリブ応用	コードに合わせて即興する	3	
			2	リズム創造	リズムの深い理解を得る		
			3	構成応用	ピッチで感情を伝える		
6	コード進行学習	譜面解析	1	インプロ進化	課題曲③を演奏できる	3	
			2	コード活用	アドリブの技術を向上させる		
			3	即興応用	リズムで創造性を示す		
7	課題③基礎	譜面読譜	1	リズム習熟	コード進行に沿った即興	3	
			2	ピッチ完璧	リズム感を完璧にする		
			3	課題曲精緻	ピッチで完全なハーモニーを作る		
8	課題③アドリブ	譜面読譜	1	アドリブ熟練	課題曲④を洗習させる	3	
			2	リズム独創	アドリブで新たなフレーズを作る		
			3	構成習熟	リズムで曲の雰囲気を変える		
9	コード進行学習	譜面解析	1	インプロ習熟	コードを使った即興の洗習	3	
			2	コード達人	リズムの細かいニュアンスをつかむ		
			3	即興熟練	ピッチで繊細な表現をする		
10	課題④基礎演奏	譜面読譜	1	リズム達人	課題曲⑤を練習する	3	
			2	ピッチ卓越	アドリブで曲に深みを与える		
			3	課題曲完成	リズムの高度なバリエーションを開発する		
11	課題④アドリブ	譜面読譜	1	アドリブ達人	コードの知識を即興に活かす	3	
			2	リズム創作	授業の内容を総復習する		
			3	構成完成	実技試験に向けて練習する		
12	コード進行学習	譜面解析	1	インプロ完成	フィードバックを活用する	3	
			2	コード理解	課題曲の完璧な演奏		
			3	即興創作	アドリブの自由度を高める		
13	課題⑤基礎演奏	譜面読譜	1	総合評価	リズムとピッチの統合	3	
			2	実技試験	各課題曲の即興を追求		
			3	フィードバック	演奏技術の総合評価		
14	課題⑤アドリブ	譜面読譜	1	リズム確認	アドリブで感情を表現	3	
			2	ピッチ検証	コード進行の理解を深める		
			3	課題曲添削	試験曲での表現力を確認		
15	前期のまとめ	譜面解析	1	試験準備	演奏における自己表現を磨く	3	
			2	実技実施	アンサンブルでの調和を図る		
			3	評価フィードバック	即興技術の応用を広げる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	アドバンスレッスン2							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	Gt:早川治 / Key:藤田美保	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家、 プロデューサー、ディレク ター		
【科目の目的】 12種類のキーにおいてコード系楽器の基本的な演奏技術を習得する。。その後、楽譜の読解能力を向上させ、音感やハーモニー感覚を発展させるために、関連する実践的な音楽知識やコードについても習得する。									
【科目の概要】 デビューをめざして各楽器の演奏、音楽制作のスキルをさらにアップ。オリジナリティを磨くトレーニングを継続し、各種オーディションやライブ活動等に積極的に参加。									
【到達目標】 A. 1 2種類のKeyにおいて、コード系楽器の基礎的な奏法を身につける。 B・1 2種類のKeyにおいて、楽譜を読む力をつけたうえで、音感やハーモニー感覚を向上させる。 C・1 2種類のKeyにおいて、コードなど実践に役立つ音楽的知識を身につける。									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	1 2種類のKeyにおいて、コード系楽器の基礎的な奏法を身につける			6種類のKeyにおいて、コード系楽器の基礎的な奏法を身につける				到達目標Aについてさらなる努力が必要	
到達目標 B	1 2種類のKeyにおいて、楽譜を読む力をつけたうえで、音感やハーモニー感覚を向上させる			6種類のKeyにおいて、楽譜を読む力をつけたうえで、音感やハーモニー感覚を向上させる				到達目標Bについてさらなる努力が必要	
到達目標 C	1 2種類のKeyにおいて、コードなど実践に役立つ音楽的知識を身につける			6種類のKeyにおいて、コードなど実践に役立つ音楽的知識を身につける				到達目標Cについてさらなる努力が必要	
【教科書】 特になし									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する) 1 4回目または1 5回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	コード進行1	抽出した各授業の目的	1 有名曲コード1	海外曲コード進行弾き	3	
			2 右左手コンビング	右左手リズムコンビ		
			3 バリエーション	バラバラリズム演奏		
2	ボイスンク1	リズムコンビング習得	1 有名曲コード2	コード進行弾き強化	3	
			2 オリジナルボイスンク	オリジナルボイスンク作		
			3 クリエイティブ性	進行応用力向上		
3	ボイスンク2	ボイスンク基礎技術	1 有名曲コード3	ボイスンク技術向上	3	
			2 オリジナルボイスンク	コード進行応用		
			3 アレンジ応用	クリエイティブ弾き		
4	テクニック1	ボイスンク応用技術	1 奏法テクニック1	奏法テクニック習得	3	
			2 8小節コード進行	独自コード進行弾き		
			3 独自性開発	8小節コンビネーション		
5	テクニック2	奏法とテクニック1	1 奏法テクニック2	イントロエンディング奏法	3	
			2 8小節コード進行	奏法応用力強化		
			3 独自性開発	パフォーマンス力向上		
6	曲の構築	イントロエンディング	1 奏法テクニック3	ジャンル理解を深める	3	
			2 イントロエンディング	音楽性適応力向上		
			3 曲の構造	パターン応用力獲得		
7	ジャンル適応1	演奏実践	1 ジャンル順応1	リードシート読解力	3	
			2 イントロエンディング	アンサンブル即応力		
			3 演奏表現力	エレピ合奏能力		
8	ジャンル適応2	演奏実践	1 ジャンル順応2	Dimコード応用力	3	
			2 イントロエンディング	進行読解と即応		
			3 演奏表現力	エンサンブル技術		
9	アンサンブル	演奏実践	1 ジャンル順応3	Augコード理解	3	
			2 アンサンブル演奏	即応性強化の応用		
			3 エレピ実践	合奏でのアダプト		
10	Dimコード活用	音楽理論活用	1 Dimコード進行	ナチュラルテンション理解	3	
			2 アンサンブル演奏	オリジナル曲ピアノ演奏		
			3 エレピ実践	ナチュラルコード活用		
11	Augコード活用	音楽理論活用	1 Augコード進行	オルタードテンション理解	3	
			2 アンサンブル演奏	創造性のある演奏		
			3 エレピ実践	オルタードコード活用		
12	ナチュラルテンシ	音楽理論活用	1 ナチュラルコード	まとめて総理解	3	
			2 オリジナルピアノ曲	演奏力の総合的強化		
			3 ピアノ演奏力	総合目標の達成		
13	オルタードテンシ	音楽理論活用	1 オルタードコード	まとめて応用力上げ	3	
			2 オリジナルピアノ曲	自己総合評価能力		
			3 ピアノ演奏力	まとめの成果把握		
14	オリジナル演奏	オリジナル演奏実践	1 まとめ1	オリジナル楽曲習得	3	
			2 オリジナルピアノ曲	ピアノ演奏力向上		
			3 ピアノ演奏力	自作曲の創作能力		
15	まとめ	総合的技術	1 まとめ2	総括的演奏理解	3	
			2 総合復習	演奏技術の精緻化		
			3 知識統合	全15回の内容について理解の深化		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等

科目名	アドバンスレッスン 2							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース（ギター）2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	恒枝賢治	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家、 プロデューサー、ディレク ター		
【科目の目的】 基礎的な演奏力、専攻分野の奏法に基づいた演奏者としての知識を活かし、演奏と音楽制作のスキル向上、オリジナリティを養うトレーニングを継続する。									
【科目の概要】 デビューをめざして各楽器の演奏、音楽制作のスキルをさらにアップ。オリジナリティを磨くトレーニングを継続し、各種オーディションやライブ活動等に積極的に参加。 音楽業界で通用するスキルと知識を持った音楽家育成します。									
【到達目標】 A. 課題曲 4 曲に関して、基礎的演奏力を体得している。 B. 課題曲 4 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している。 C. 卒業後を想定して、演奏法に、再現性と継続性が見込める。									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	課題曲 4 曲に関して、基礎的演奏力を体得している			課題曲 2 曲に関して、基礎的演奏力を体得している				到達目標Aについてさらなる努力が必要	
到達目標 B	課題曲 4 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している			課題曲 2 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している				到達目標Bについてさらなる努力が必要	
到達目標 C	卒業後を想定して、演奏法に再現性と継続性が見込める			リードシート譜面を作成できる				到達目標Cについてさらなる努力が必要	
【教科書】 特になし									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する) 1 4 回目または 1 5 回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	前期復習	前期知識確認	1 1年次復習	基礎知識の確認ができる	3	
			2 確認テスト	前年の内容を復習できる		
			3 基本技術習得	学習の自己評価ができる		
2	インターバル	インターバル算出	1 カポ使用法	カポタスト使用法を理解	3	
			2 異なるヴォイシング	ヴォイシングの変更ができる		
			3 弾き比べ実践	演奏技術が向上する		
3	ジャズ&ボサノヴァ	ジャズコード	1 16分カッティング	16分音符カッティングができる	3	
			2 リズム強化	リズム感が養われる		
			3 テンポ調整	精度の高い演奏が可能		
4	省略コード奏法	ボイシング	1 スケール理解	スケールの基本を習得	3	
			2 ミクソリディアン	ミクソリディアンスケールが弾ける		
			3 ドリアン習得	ドリアンスケールが弾ける		
5	フィードバック法	マイキング	1 単音ミュート	単音ミュート技術が身につく	3	
			2 メロディバックキング	メロディとのバックキングが理解		
			3 バックキング応用	アンサンブル力が向上する		
6	作曲技術 1	モチーフ展開	1 作曲のコツ	基本的な作曲技法を理解	3	
			2 リードシート作成	リードシートが書けるようになる		
			3 実践作曲指導	実際に作曲ができる		
7	作曲進行 1	モチーフ展開	1 1 曲目作曲	個別指導による技術向上	3	
			2 テクニック指導	1 曲目作成の自信がつく		
			3 作品完成度	アドバイスを反映できる		
8	作曲技術 2	モチーフ展開	1 1 曲目レビュー	1 曲目のブラッシュアップ	3	
			2 改善提案	具体的な改善点が見える		
			3 2 曲目作曲	2 曲目の作曲に着手		
9	作曲進行 2	モチーフ展開	1 創作性強化	クリエイティブ性が育つ	3	
			2 2 曲目レビュー	2 曲目作成で応用力アップ		
			3 作曲アドバイス	フィードバックを活用する		
10	作曲技術 3	モチーフ展開	1 改善実践	2 曲目の質が向上する	3	
			2 3 曲目作曲	3 曲目の作曲を始める		
			3 クリエイティブ性	クリエイティブスキルが磨かれる		
11	作曲進行 3	モチーフ展開	1 3 曲目レビュー	3 曲目の練習と改善	3	
			2 パンチ処理	パンチイン・アウトができる		
			3 レコーディング技術	録音技術に習熟する		
12	作曲技術 4	モチーフ展開	1 実践レコーディング	パンチ処理での編集力向上	3	
			2 楽曲発表準備	デモ制作への理解を深める		
			3 デモ制作	パフォーマンスの準備ができる		
13	作曲進行 4	モチーフ展開	1 発表スキル	発表に向けた演奏ができる	3	
			2 楽曲発表本番	作品発表の経験を積む		
			3 パフォーマンス評価	パフォーマンスの自己評価		
14	デモ演奏技法	録音技法習得	1 フィードバック応用	フィードバックを具体化	3	
			2 パンチイン習得	パンチイン・アウトができる		
			3 パンチアウト実践	録音編集技術の実践力		
15	まとめ	技術&作品確認	1 修正技術	録音編集技術の実践力	3	
			2 デモンストレーション1	デモ制作のスキルアップ		
			3 発表会準備	発表内容のブラッシュアップ		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	アドバンスレッスン 2							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース (ベース) 2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	永田範正	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家、 プロデューサー、ディレク ター		
【科目の目的】 基礎的な演奏力、専攻分野の奏法に基づいた演奏者としての知識を活かし、演奏と音楽制作のスキル向上、オリジナリティを養うトレーニングを継続する。									
【科目の概要】 デビューをめざして各楽器の演奏、音楽制作のスキルをさらにアップ。オリジナリティを磨くトレーニングを継続し、各種オーディションやライブ活動等に積極的に参加。									
【到達目標】 A. 課題曲 4 曲に関して、基礎的演奏力を体得している。 B. 課題曲 4 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している。 C. 卒業後を想定して、演奏法に、再現性と継続性が見込める。									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ループリック									
ループリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	課題曲 4 曲に関して、基礎的演奏力を体得している			課題曲 2 曲に関して、基礎的演奏力を体得している				到達目標Aについてさらなる努力が必要	
到達目標 B	課題曲 4 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している			課題曲 2 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している				到達目標Bについてさらなる努力が必要	
到達目標 C	卒業後を想定して、演奏法に再現性と継続性が見込める			リードシート譜面を作成できる				到達目標Cについてさらなる努力が必要	
【教科書】 特になし									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はループリック評価に基づき、試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する) 1 4 回目または 1 5 回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025	
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期	
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価	
1	ウォーキング作成	進行のライン構築	1	ウォーキング作成	コード進行理解	3	
			2	コード理解	ウォーキングライン作成		
			3	ライン作成技術	創造性向上		
2	16ビートルズム1	リズム感養成1	1	イーブン16練習	イーブン16ビート理解	3	
			2	リズム多様性	リズムパターン習得		
			3	ビート感強化	タイム感の強化		
3	16ビートルズム2	リズム感養成2	1	16ビート練習	16ビートシャッフル理解	3	
			2	シャッフル感	シャッフルパターン習得		
			3	リズム応用力	リズムバリエーション向上		
4	高難度スケール	スケール習熟度上昇	1	スケール習得	高難度スケール習得	3	
			2	hmp5↓理解	hmp5↓スケール理解		
			3	オルタード理解	オルタードスケール理解		
5	ベースライン1	ルート主導ライン作成	1	ジャズコード習得	ジャズリードシート読解	3	
			2	ルートアプローチ	ルート中心のベースライン作成		
			3	リードシート解析	ジャズベース理論応用		
6	ベースライン2	スケール活用技法	1	ジャズベース線	スケール利用のベースライン作成	3	
			2	スケール活用	スケール応用能力向上		
			3	アプローチ応用	アドリブ構築スキル向上		
7	理解度チェック	演奏理解度評価	1	理解度チェック	授業内理解度自己評価	3	
			2	フィードバック	ピアフィードバック受容		
			3	自己評価能力	自己進捗の客観的把握		
8	ブラッシュアップ	曲の洗練技法1	1	ベースライン改善	自作ベースラインの改善	3	
			2	自作曲ブラッシュ	課題曲ブラッシュアップ		
			3	課題曲ブラッシュ	音楽的表現力の拡大		
9	ブラッシュアップ	曲の洗練技法2	1	ベースライン仕上げ	独自性のあるベースライン創出	3	
			2	自作曲完成度	完成度の高い演奏能力獲得		
			3	課題曲完成度	課題曲完成度を上げることができる		
10	ベースソロ練習	アドリブ演奏法習得	1	アドリブ演奏	循環コードにおけるアドリブ構築	3	
			2	循環コード理解	ベースソロの即興力向上		
			3	ソロ演奏力向上	奏法の違い理解		
11	レコ実習-奏法	多様な奏法実践	1	レコーディング1	レコーディングテクニック習得	3	
			2	奏法アプローチ	表現の幅拡大		
			3	レコ技術理解	ニュアンスの表現力向上		
12	レコ実習-ニュアンス	ニュアンス深化法	1	レコーディング2	録音における表現力習得	3	
			2	ニュアンス重視	感情表現の磨き上げ		
			3	表現力向上	自己の問題点の特定		
13	問題点修正	独自問題の診断修正	1	問題点修正	録音技術の改善	3	
			2	自己改善力	演奏改善の自己管理		
			3	録音技術研磨	録音技術を向上させる		
14	授業内発表	実技を通じた発表	1	授業内発表	授業内で適切に発表をすることができる	3	
			2	パフォーマンス力	パフォーマンスへの自信		
			3	演奏評価能力	自らの演奏を評価することができる		
15	後期のまとめ	技術・理論の総括	1	まとめの理解	全学期の総復習	3	
			2	学習内容定着	習得スキルの定着確認		
			3	総合力向上	全体的な音楽性の向上		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等

科目名	アドバンスレッスン 2							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース（ピアノ・キーボード）2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	杉本 清隆		教員の実務経験	有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家、 プロデューサー、ディレク ター		
【科目の目的】 基礎的な演奏力、専攻分野の奏法に基づいた演奏者としての知識を活かし、演奏と音楽制作のスキル向上、オリジナリティを養うトレーニングを継続する。									
【科目の概要】 デビューをめざして各楽器の演奏、音楽制作のスキルをさらにアップ。オリジナリティを磨くトレーニングを継続し、各種オーディションやライブ活動等に積極的に参加。									
【到達目標】 A. 課題曲 4 曲に関して、基礎的演奏力を体得している。 B. 課題曲 4 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している。 C. 卒業後を想定して、演奏法に、再現性と継続性が見込める。									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A	課題曲 4 曲に関して、基礎的演奏力を体得している		課題曲 2 曲に関して、基礎的演奏力を体得している				到達目標Aについてさらなる努力が必要		
到達目標 B	課題曲 4 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している		課題曲 2 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している				到達目標Bについてさらなる努力が必要		
到達目標 C	卒業後を想定して、演奏法に再現性と継続性が見込める		リードシート譜面を作成できる				到達目標Cについてさらなる努力が必要		
【教科書】 特になし									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する) 1 4 回目または 1 5 回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標=修得するスキル	評価方法	自己評価
1	留意点考察	アンサンブル注意	1 留意点考察	アンサンブル理解	3	
			2 アンサンブル理解	留意点の把握		
			3 演奏改善点	集団演奏の進化		
2	アンサンブルUP	演奏アップグレード	1 アンサンブル強化	演奏アップグレード	3	
			2 コミュニケーション力	協調性の向上		
			3 合奏の流れ	リアクション力強化		
3	アイコンタクト1	演奏技能向上	1 手元依存脱却	手元依存脱却	3	
			2 視覚連携強化	視覚連携の向上		
			3 記憶力向上	アイコンタクト習得		
4	アイコンタクト1	演奏技能向上	1 視覚連携確立	他パート調和	3	
			2 即応性向上	演奏適応力向上		
			3 手元自由度	楽器間交流促進		
5	他楽器連携1	演奏技能向上	1 他楽器理解	中間発表の準備	3	
			2 演奏適応性	進捗の自己評価		
			3 相互作用学習	パフォーマンス向上		
6	他楽器連携2	演奏技能向上	1 他楽器連携	発表技術習得	3	
			2 演奏協調性	受信的フィードバック		
			3 交流深化	表現力自己評価		
7	中間発表1	中間発表技巧1	1 中間発表準備	パフォーマンス分析	3	
			2 実演技術	表現力向上戦略		
			3 プロジェクト共有	ステージング把握		
8	中間発表2	中間発表技巧2	1 中間発表実施	衣装と表現一致	3	
			2 実践評価	衣装効果認識		
			3 反省点洗出	ステージプレゼンス		
9	パフォーマンス	演奏技能向上	1 パフォーマンス分析	記憶技術の基礎	3	
			2 自己表現技法	集中力の強化		
			3 演出効果理解	演奏安定化戦略		
10	衣装考察	ファッション論	1 衣装効果	表現の記憶法習得	3	
			2 ステージ設計	暗記技術の進化		
			3 演出計画性	演奏の自由度増		
11	暗譜演奏1	演奏技能向上	1 暗譜技術1	完全暗譜の実施	3	
			2 記憶力強化	全体復習の実施		
			3 自立性促進	技術の定着確認		
12	暗譜演奏2	演奏技能向上	1 暗譜技術2	目標の精緻化	3	
			2 演奏自信増	全体理解の確認		
			3 暗譜安定性	総合的応用力		
13	暗譜演奏3	演奏技能向上	1 暗譜技術3	展望設定の具体化	3	
			2 完全記憶	アンサンブル応用		
			3 自信全演	留意点の実践		
14	まとめ1	授業の総括1	1 まとめ整理	集団演奏の洗練	3	
			2 成果把握	アンサンブル協調		
			3 次回目標設定	視覚連携の洗練		
15	まとめ2	授業の総括2	1 全体理解	コミュニケーション強化	3	
			2 知識定着	パフォーマンス応用		
			3 今後への展望	自己表現の洗練		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等

科目名	アドバンスレッスン 2							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース（ドラム）2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	杉本 清隆	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家、 プロデューサー、ディレク ター		
【科目の目的】 基礎的な演奏力、専攻分野の奏法に基づいた演奏者としての知識を活かし、演奏と音楽制作のスキル向上、オリジナリティを養うトレーニングを継続する。									
【科目の概要】 デビューをめざして各楽器の演奏、音楽制作のスキルをさらにアップ。オリジナリティを磨くトレーニングを継続し、各種オーディションやライブ活動等に積極的に参加。									
【到達目標】 A. 課題曲 4 曲に関して、基礎的演奏力を体得している。 B. 課題曲 4 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している。 C. 卒業後を想定して、演奏法に、再現性と継続性が見込める。									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	課題曲 4 曲に関して、基礎的演奏力を体得している			課題曲 2 曲に関して、基礎的演奏力を体得している				到達目標Aについてさらなる努力が必要	
到達目標 B	課題曲 4 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している			課題曲 2 曲に関して、専攻分野における奏法をふまえた、演奏者としての知識を習得している				到達目標Bについてさらなる努力が必要	
到達目標 C	卒業後を想定して、演奏法に再現性と継続性が見込める			リードシート譜面を作成できる				到達目標Cについてさらなる努力が必要	
【教科書】 特になし									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表20%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する) 1 4 回目または 1 5 回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	スケジュール確認	目標を定める	1 ヒヤリング	疑問点を解消できる	3	
			2 疑問解消	個人目標を設定できる		
			3 目標設定	スケジュールを立てる		
2	初見演奏 1	読譜力の向上	1 初見譜面 1	初見譜面を読める	3	
			2 演奏実践	即興演奏ができる		
			3 スケジュール確認	演奏の精度を高める		
3	初見演奏 2	読譜力の向上	1 初見譜面 2	譜面読解力を向上させる	3	
			2 演奏強化	応用演奏ができる		
			3 表現練習	表現力を豊かにする		
4	ドラムアレンジ	アレンジ思考	1 ストーリー理解	曲の背景を理解する	3	
			2 ドラムアレンジ	ドラムアレンジができる		
			3 創作活動	創造性を発揮する		
5	機材実習	機材を習得	1 機材紹介	機材知識がつく	3	
			2 演奏実習	演奏技術が向上する		
			3 ビート同期	操作スキルが身につく		
6	多様なビート	同期演奏	1 ビート演奏	様々なビート演奏ができる	3	
			2 クリック同期	クリックに合わせられる		
			3 リズム習得	リズム感が養われる		
7	オリジナル演奏	独自性を表現	1 マイナスワン	オリジナル性を出せる	3	
			2 オリジナル曲	ブラスワン演奏ができる		
			3 実践演奏	自己表現ができる		
8	中間発表	理解度チェック	1 理解度チェック	中間目標を達成する	3	
			2 中間発表	自己評価ができる		
			3 自己評価	成果を発表できる		
9	ソロ曲紹介	演奏法取得	1 ドラムソロ入門	ドラムソロを理解する	3	
			2 ソロ紹介	個性的なソロができる		
			3 ソロ演奏	技術的な表現ができる		
10	ソロの作成	演奏法取得	1 ソロ作成	ソロ制作技術を身につける	3	
			2 アレンジ法	個別アレンジができる		
			3 創作表現	ソロの構築ができる		
11	ソロの実演	演奏法取得	1 ドラム主役曲	オリジナルソロを創る	3	
			2 マイナスワン実践	マイナスワンで完遂する		
			3 ソロ表現	主役として演奏する		
12	ドラム主役の演奏	演奏法取得	1 レコーディング準備	レコーディングを理解する	3	
			2 機材選定	適切な機材を選べる		
			3 セッティング	準備と設定ができる		
13	録音準備	録音に対する事前準備	1 レコーディング	レコーディング技術が身につく	3	
			2 発表準備	発表資料を作れる		
			3 素材制作	作品を世界に発信する		
14	実際のレコーディング	素材作り	1 まとめ	後期の内容を振り返る	3	
			2 後期検証	成果を検証できる		
			3 総合評価	総合的な評価ができる		
15	後期のまとめ	総合的な評価	1 フィードバック	講師からのフィードバックを今後の糧にする	3	
			2 次期準備	次期への目標を立てる		
			3 成果共有	全体を共有できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等

科目名	アドバンスレッスン 2							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	河原レオ・南慶樹	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家、 プロデューサー、ディレク ター		
【科目の目的】 4つの異なる音楽ジャンルに合わせた作曲技術を学び、さらに編曲技術を習得する。DAWデータ内の任意のトラックに少なくとも1つのエフェクトを適用し、オーディションやコンテストに参加することで、さらにスキルアップを目指す。									
【科目の概要】 デビューをめざして各楽器の演奏、音楽制作のスキルをさらにアップ。オリジナリティを磨くトレーニングを継続し、各種オーディションやライブ活動等に積極的に参加。									
【到達目標】 A. 4種類のジャンルに合わせた作曲の技術を身につけること B・4種類のジャンルに合わせた編曲の技術を身につけること C・DAWデータの任意のトラックに最低2種類のエフェクトを適用し楽曲を提出できる									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	4種類のジャンルに合わせた作曲の技術を身につけること			2種類のジャンルに合わせた作曲の技術を身につけること				到達目標Aについてさらなる努力が必要	
到達目標 B	4種類のジャンルに合わせた編曲の技術を身につけること			2種類のジャンルに合わせた編曲の技術を身につけること				到達目標Bについてさらなる努力が必要	
到達目標 C	DAWデータの任意のトラックに最低2種類のエフェクトを適用し楽曲を提出できる			DAWデータの任意のトラックに最低1種類のエフェクトを適用し楽曲を提出できる				到達目標Cについてさらなる努力が必要	
【教科書】 特になし									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、14回目または15回目にて授業内発表を行い、その巧拙を判定する。60%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業後に提出するレポートによる平常点40%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	課題⑨基礎	基礎理解	1 課題曲⑨紹介	課題曲⑨の概要理解	3	
			2 基本制作法	基本的構造把握		
			3 楽曲構造	メロディの要素認識		
2	課題⑨旋律	旋律作成	1 課題曲⑨分析	課題曲⑨の解析技法習得	3	
			2 コード進行	リズムの基礎知識		
			3 リズム感得	ハーモニーの理解深化		
3	課題⑨和声	和声適用	1 課題曲⑨練習	楽曲のメロディ作成能力	3	
			2 メロディ作成	楽曲背景知識習得		
			3 アレンジ法	楽器役割の理解		
4	課題⑨リズム	リズム設計	1 課題曲⑨応用	楽曲制作の全体像把握	3	
			2 楽器選定	コード構築能力習得		
			3 ダイナミクス	アレンジメント基礎		
5	課題⑨完成	初稿完成	1 課題曲⑨発表	楽曲の完成形態理解	3	
			2 評価方法	楽曲評価基準知識		
			3 フィードバック	改善点の特定能力		
6	課題⑩導入	テーマ性	1 課題曲⑩紹介	課題曲⑩の概要理解	3	
			2 再構築法	応用的構造把握		
			3 エフェクト利用	複雑リズムの解析能力		
7	課題⑩テクニック	楽器配置	1 課題曲⑩分析	和声の拡張知識習得	3	
			2 録音技法	テクスチャー理解強化		
			3 ミックス調整	楽曲の変化・発展認識		
8	課題⑩構造	曲構成	1 課題曲⑩練習	複雑メロディ作成能力	3	
			2 進行変更	ブリッジ部分構築能力		
			3 サウンド選択	アレンジの応用知識		
9	課題⑩編曲	編曲進行	1 課題曲⑩応用	楽曲発表の準備能力	3	
			2 和声技法	楽曲の詳細な評価技法		
			3 テクスチャー	音楽制作の最終調整能力		
10	課題⑩評価	自己評価	1 課題曲⑩発表	リズムとメロディ統合	3	
			2 曲の展開法	楽曲のテーマ設定能力		
			3 ブリッジ作成	楽曲の変更・修正技法		
11	課題⑪発展	スキル向上	1 課題曲⑪紹介	楽曲全体の流れ理解	3	
			2 音域活用	リスニング技法習得		
			3 モチーフ展開	楽曲の構造変更能力		
12	課題⑪高度技法	テクニカルな作曲	1 課題曲⑪分析	楽曲の表現力向上策	3	
			2 実践的評価	音色選択の基本知識		
			3 リスニング会	楽器の演奏法理解		
13	課題⑪楽器編	音色選択	1 課題曲⑪改善	曲構造の創造的変更能力	3	
			2 音色調整	アレンジの最終調整		
			3 エディット技法	MIDI編集技術習得		
14	課題⑪マスタリング	DAW技術	1 課題曲⑪完成	マスタリングの基礎	3	
			2 最終ミックス	音楽のジャンル理解		
			3 マスタリング	コードの応用技法		
15	課題⑪公開	総仕上げ	1 課題曲評価	リミックス技術習得	3	
			2 ポートフォリオ	楽曲プレゼンテーション技法		
			3 フィイナルレビュー	レビューを通じて今後への展望が把握できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等

科目名	アドバンスレッスン 2							年度	2025
英語科目名	Advanced lesson 2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 プレイヤーコース 2年次	必/選	選	時間数	240	単位数	8	種別※	実習
担当教員	南慶樹	教員の実務経験		有	実務経験の職種		ミュージシャン、作編曲家、 プロデューサー、ディレク ター		
【科目の目的】 楽譜を読むことを中心とした基礎訓練を行い、音程・メロディー・ハーモニーなどの読譜を行う事が出来るスキルを習得する。									
【科目の概要】 デビューをめざして各楽器の演奏、音楽制作のスキルをさらにアップ。オリジナリティを磨くトレーニングを継続し、各種オーディションやライブ活動等に積極的に参加。									
【到達目標】 A. 半音と全音の聴き取りができる B. 講師指定のメロディを採譜できる C. 講師指定のハーモニーを採譜できる									
【授業の注意点】 授業中の私語や受講態度などには厳しく対応する。公共交通機関の影響によるやむを得ない理由をのぞき遅刻や欠席は認めない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル3 優れている			レベル2 ふつう				レベル1 要努力	
到達目標 A	半音と全音の聴き取りが適切にできる			半音と全音の聴き取りがややできる				到達目標Aについてさらなる努力が必要	
到達目標 B	講師指定のメロディを適切に採譜できる			講師指定のメロディをやや採譜できる				到達目標Bについてさらなる努力が必要	
到達目標 C	講師指定のハーモニーを適切に採譜できる			講師指定のハーモニーをやや採譜できる				到達目標Cについてさらなる努力が必要	
【教科書】 特になし									
【参考資料】 必要に応じて、プリントを配布する									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、授業内課題、レポートなどで行う。									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		アドバンスレッスン2			年度	2025
英語表記		Advanced lesson 2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	音程理論	課題の理解	1 楽譜の基礎	楽譜読解の基礎ができる	3	
			2 音程の理論	音程理論の理解ができる		
			3 楽典エクササイズ	楽典基本エクササイズができる		
2	音程理論	エクササイズ	1 楽譜読解力	音符と休符を識別できる	3	
			2 音程認識	完全・長短音程を認識		
			3 リズムトレーニング	基本リズムを演奏できる		
3	音程理論	エクササイズ	1 五線譜の書き方	五線譜に音符を書ける	3	
			2 完全・長短音程	音階を正確に歌える		
			3 音階の構築	簡単な和音を弾ける		
4	音程理論	エクササイズ	1 音符と休符	音符と休符を意識して歌える	3	
			2 和音の構成	リズムパターンを作れる		
			3 即興演奏	簡単な即興演奏ができる		
5	音程理論	エクササイズ	1 クレッシェンド	ダイナミックマークを理解	3	
			2 転調の理解	転調の基礎がわかる		
			3 メロディ作成	メロディーを作曲できる		
6	音程理論	エクササイズ	1 アーティキュレーション	アーティキュレーションができる	3	
			2 調性の感覚	調性の理解が深まる		
			3 コードの進行	コード進行を弾ける		
7	音程理論	エクササイズ	1 ダイナミクス	音楽表現を豊かにできる	3	
			2 相対音感	相対音感の基礎がわかる		
			3 アンサンブル	アンサンブルの基礎がわかる		
8	音程理論	エクササイズ	1 フレーズの分析	フレーズ分析ができる	3	
			2 耳コピ練習	基本的な耳コピができる		
			3 指導法の展開	音楽教育法を知る		
9	音程理論	エクササイズ	1 リズム感の強化	リズム感が養える	3	
			2 音色の識別	音色を識別できる		
			3 スケールの実践	実用的なスケールが弾ける		
10	音程理論	エクササイズ	1 テンポの変化	テンポ変更ができる	3	
			2 即時反応	反応速度が上がる		
			3 表現力向上	表現力が向上する		
11	音程理論	エクササイズ	1 音楽理論の応用	理論知識を実践できる	3	
			2 アレンジメント	アレンジメントができる		
			3 演奏技術	演奏技術が向上する		
12	音程理論	エクササイズ	1 運指練習	正確な運指ができる	3	
			2 聴音練習	聴音スキルが向上する		
			3 インターバル	インターバルがわかる		
13	音程感覚向上	課題の理解	1 ソルフエージュ	ソルフエージュができる	3	
			2 創作活動	自分の曲を作れる		
			3 音楽の歴史	音楽の歴史がわかる		
14	音程感覚向上	エクササイズ	1 楽器の知識	楽器の知識が増える	3	
			2 発声練習	発声技術が向上する		
			3 音程の変化	音程の変化を聴き分ける		
15	音程感覚向上	エクササイズ	1 演奏表現	演奏表現が豊かになる	3	
			2 大人数ハーモニー	大人数ハーモニーの音がわかる		
			3 今後への展望	ソルフエージュカアップについて訓練法がわかる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他
自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった
備考 等